

岡山県内のものづくりの技術をPRする「おかやまテクノロジー展」（県、県産業振興財団主催）が9日、岡山市北区大内田のコンベックス岡山で始まった。岡山を機械加工産業の集積地として内外にアピールし、地場企業の販路拡大につなげる狙いで初めて企画した。県によると、中四国地方では最大規模の加工技術展示商談会で、10日までの期間中、大手自動車部品や重工業メーカーのバイヤーら約5千人の来場を見込んでいる。（森元俊一朗）

初の「テクノロジー展」開幕 県と県産業財団

自動車や電子機器部品、医療器具製造など、

地場や県内に製造拠点を

持つ143社・団体が

出展。各社は、10

0分の1ミリの誤差で複

雑な形状に切削した金

属機械部品を展示した

り、金属製パイプの一

部を細くする鍛造技術

を動画で紹介したりし

てバイヤーに売り込ん

だ。

金型製造などの中原

鉄工（同市中区雄町）

の中原成始郎社長は

「当社の精密加工技

術をアピールし、新た

な取引先を見つけた

い」と話し、兵庫県姫

路市の自動車用樹脂部

品メーカーは「発注先

として自社にない技

岡山ものづくりPR

来た」と会場を回って、自動車部品製造業者など産官学が連携して開発

会場には、岡山県内のした電気自動車（EV）



岡山県内のものづくりの技術をPRする会場

の試作車「OVERC-ONE」を出品。来場者は車輪に組み込んだモーターで走る技術に見入っていた。建設機械部品メーカーがデモンストレーション用に造った重機型ロボット「スパーガジラ」も展示された。

同展に合わせ、これまで県などが個別に行っていた、中小企業対象の「経営革新アワード」表彰式や基調講演（9日）、「ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」（10日）、「広域商談会」（両日）など7事業を同時に開催した。

県によると、ものづくり関連の大規模な展示商談会は東京や大阪に集中し、地方では珍しいという。2016年度以降も継続開催し、中四国一の展示会として定着を目指す。

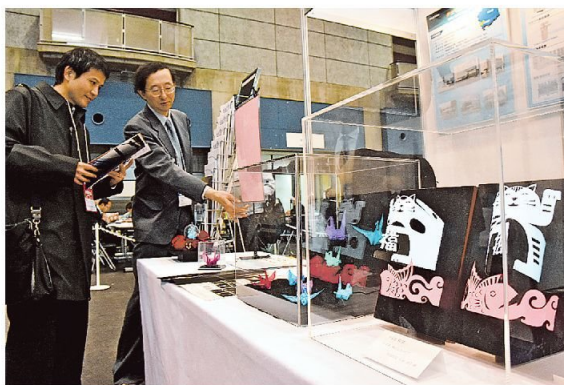
●本社HPに動画

EVやロボット
143社販路拡大狙う

47社 製品性能紹介

おかやまテクノロジー展の会場では、精密生産技術の産業集積を目指す産官学組織「ミクロものづくり岡山推進協議会」が初の作品コンテストを開き、地場企業の技術力を発信した。

同展出展企業のうち、液晶製造装置メーカーや精密板金加工工業など47社が参加。それぞれのブースに、無機EL技術で製造した薄い発光シートで作った折り



ブースで来場者に自社製品を説明するコンテスト参加企業

鶴や、薄さ0.1ミリの樹脂パイプといった製品やサンプルを並べた。希望した14社はステージでプレゼンテーションも行い、製品の性能を紹介した。

コンテストは来場者が1人1票を投票。得票上位から大学や産業支援機関、金融機関でつくる審査会が技術力や独創性などを基準に10点を選び表彰する。

投票は10日正午まで。同日午後3時半から会場では表彰式を行う。（洞井宏太）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。